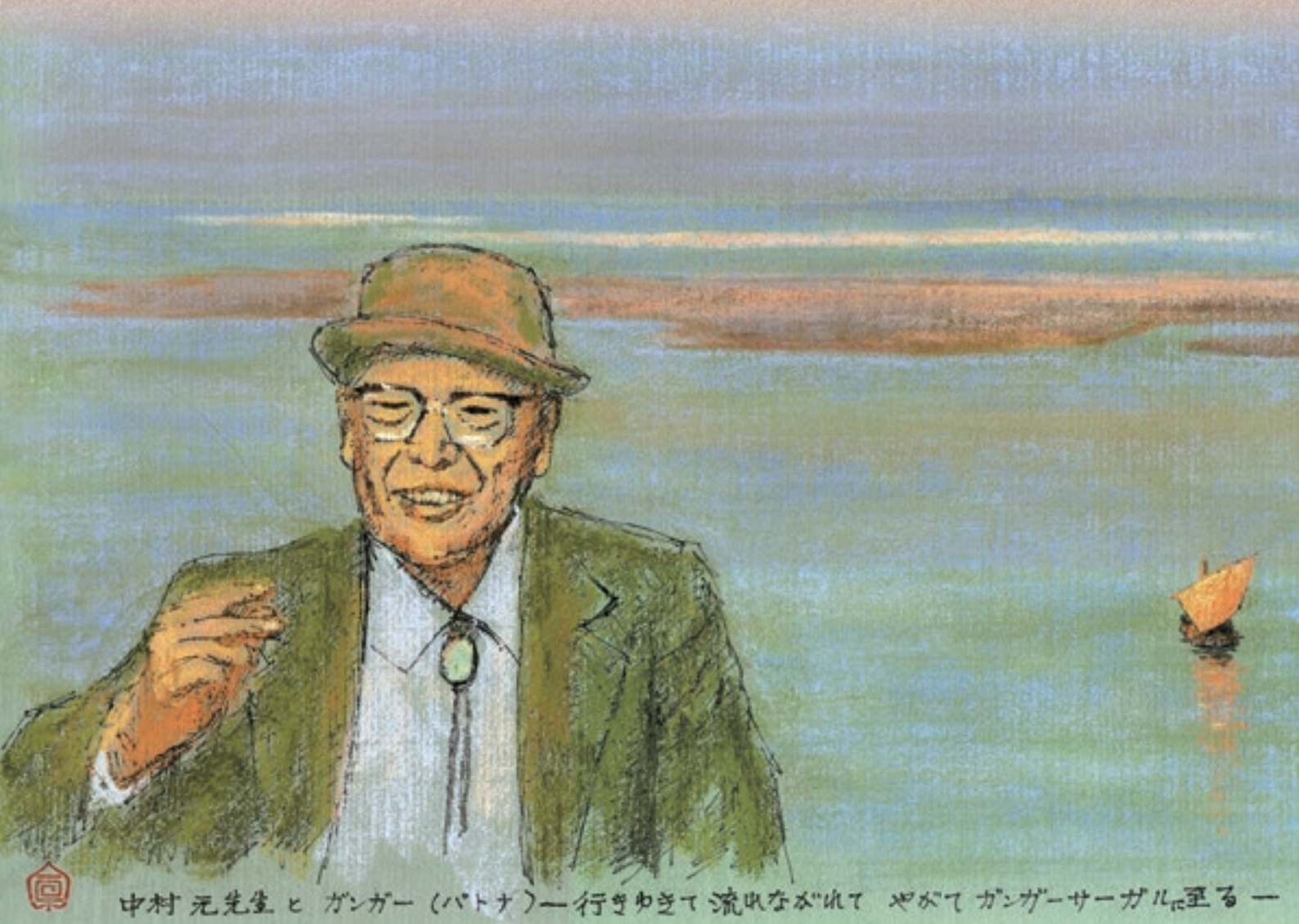
中村元記念館 Nakamura Hajime Memorial Hall नाकामुरा हाजीमे स्मारक सभागृह

東方学院松江校
中村元記念館文化講座

受講の手引き

2024年度



東方学院

理念

〈人間〉の回復をめざし
財団法人東方研究会を母胎として
ここに『東方学院』を開設しました。
『東方学院』は本学院の理想に賛同する学者個人と
そのもとで学ぼうとする学徒とによって構成される
共同体としてのグループの連合です。
〈個人指導の場の共同体〉とでもいうべきものをめざしています。

**The Toho Gakuin (The Eastern Academy) was established
with the hope of contributing to the restoration of human integrity.
This Academy is a cooperative body of various academic communities
of scholars and students wishing to learn,
in which scholars provide personal guidance to the students.
Above all, our aim is to have this Academy be the rallying point
for students and scholars.**

東方学院松江校の運営は特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所が行います。

目　次

東方学院　理念 ―― 2
ごあいさつ・東方学院松江校とは ―― 4
中村元記念館　各講座受講のご案内 ―― 6
オンライン（ZOOM）講座について ―― 7
中村元記念館 2024年度講義一覧 ―― 8
東方学院松江校 講義案内 ―― 10
中村元記念館文化講座 講義案内 ―― 26
2024年度 東方学院松江校・中村元記念館文化講座 年間スケジュール ―― 32
各講座へのお申込みのご案内 ―― 34
2024年度 東方学院松江校・中村元記念館文化講座受講申込書 ―― 35
中村元記念館東洋思想文化研究所研究員募集 ―― 37
中村元記念館ボランティアサポーター募集 ―― 37
慈しみ（東方学院歌） ―― 38
アクセス ―― 39

表紙絵：
中村元先生とガンガー（パトナ）
―行きゆきて　流れながれて
やがてガンガーサーガルに至る―
画：石川　響

慈しみ

一切の生きとし生けるものは
幸福であれ　安穏であれ　安楽であれ
一切の生きとし生けるものは　幸であれ
何びとも他人を欺いてはならない
たといどこにあっても
他人を軽んじてはならない
互いに他人に苦痛を与える
ことを望んではならない
この慈しみの心づかいを
しっかりと　たもて

中村元訳　ブッダのことば

中村　元
(1912～1999)

インド哲学･仏教学の世界的権威であり、比較思想学の開拓者。1500点を超える膨大な著作・論文を発表し、我が国における思想研究の分野を大きく発展させた。従来のセクショナリズムにとらわれない壮大な世界思想史を構築し、その業績は海外でも高く評価されている。

大正元年島根県松江市に生まれ、東京帝国大学でインド哲学を学ぶ。同大学名誉教授。昭和45年財団法人東方研究会（現公益財団法人中村元東方研究所）を設立。昭和48年東方学院を設立し、学院長に就任。昭和49年紫綬褒章、昭和52年文化勲章受章。平成元年松江市名誉市民。

主な著書に『広説佛教語大辞典』（東京書籍）、『初期ヴェーダーンタ哲学史』（岩波書店）、『東洋人の思惟方法』シリーズ、『インド史』（春秋社）、他多数。

ごあいさつ

東方学院長
藤井教公
（公益財団法人中村元東方研究所理事長・中村元記念館館長
国際仏教学大学院大学教授・北海道大学名誉教授）

島根県松江市の中海に浮かぶ大根島。この島のほぼ中央部に松江市八束町支所の庁舎があり、その二階に中村元記念館があります。この記念館は松江市出身の世界的インド哲学・仏教学の泰斗、中村元博士を記念する会館で、当時中村元東方研究所理事長（現名誉理事長）の前田專學博士が発願し、地元の清水谷善圭師らの尽力によって平成24年10月10日、中村博士生誕百周年の年、設立されたものです。

館内には中村元博士の３万４千冊に上る蔵書の一部が展示され、一画には博士が執筆活動をされた書斎そのままが再現され、机や椅子、文房具など、数々の遺品とともに、生前の博士の有様を彷彿とさせる空間を創出しています。

中村元博士は東大を退官後、昭和48年に東京の千代田区に東方学院を開設され、「現代の寺子屋」として多くの勉学の徒を導いてこられましたが、その活動は50年後の現在まで立派に受け継がれています。

その現れの一つがこの記念館における東方学院松江校の開設です。松江校は記念館開設の翌年の平成25年、東京の東方学院本校との緊密な連携のもとに開設されました。この松江校の中にも中村博士の精神が脈々と流れています。お互いが中村博士の提唱した「慈しみの心」を胸に刻んで、共に勉強しようではありませんか。

東方学院松江校とは

老若男女を問わず、誰もが東洋思想について学べる場所——それが東方学院です。

東方学院は、インド哲学・仏教学の世界的権威である故中村元博士によって、1973年に財団法人東方研究会（現 公益財団法人中村元東方研究所）を母胎として設立されました。

「真に教えたい一人と、真に学びたい一人が集まれば学院は成り立つ」という中村博士の理念に基づき、学問のセクショナリズムにとらわれない現代の寺子屋として、東京本校・関西教室・中部教室で、多くの人々が東洋思想について教え、学び、日々研鑽を深めています。

そして平成25年４月、中村博士の出身地、島根県松江市の中村元記念館に東方学院松江校が開校されました。

「心の時代」といわれる現代社会、多くの人々が「どのように生きるべきか」という問いを抱えています。中村博士は生涯、インド哲学や仏教をはじめとした東洋の思想を通じて、私たちの「生きる道」を説き続けました。

学問とは真理の探究であり、その扉はいつでも、誰にでも開かれています。

あなたも東方学院松江校で、奥深い魅力にあふれた東洋の智慧を学んでみませんか？

◆ 東方学院の特徴

・真に学を究め、道を求めたい人々の学院です。学歴・年齢・職業・国籍・性別などを問いません。
・専門家のあいだの縄ばり意識の無い学院です。だれでも自由に学問を延ばすことができます。
・講師と研究会員との人間的連絡が緊密です。講師は懇切に指導をいたします。同学の人々とながく協同することが可能です。
・各講師は奉仕的に指導をいたしますから、若干の分野においては、日本におけるどの大学よりもはるかに詳しい講義がなされています。
・従来の大学ではなされていないテーマで斬新な講義や実習指導がなされています。
・学問には熱意が最も大切です。したがって熱意のある方々はいつでも入学できます。
・東方学院の講義を受講される方を本学院では「研究会員」と称します。

◆ 東方学院設立の経緯と意義

東方学院は、創立者中村元の東京大学退官とともに、昭和45年11月に文部省より財団設立の認可を受けた財団法人東方研究会（現公益財団法人中村元東方研究所）を母胎として、昭和48年に設立されました。

その大きな動機は、当時、大学に吹き荒れた学園紛争にともない、学術的には減退傾向にあり、また精神的な砂漠化のさなかにあって、学術的精神的な拠点となりうる、小さくともしっかりした学院をつくることにありました。そして学問の自由を制約することになる縄張り意識の強いセクショナリズムを廃して、真理探究を目的とする学問本来の姿を回復するためでありました。

大学の外につくることでセクショナリズムを脱し、またカルチャー・センターとも異なる一種の私塾、つまり現代の「寺子屋」として出発しました。真に教えたい一人と真に学びたい一人が集まれば学院は成り立つ ― これが創立者・中村元の信念であり、まさに東方学院の原点といえます。

幸いにも、このような考えに同調し、協力を申し出る人々が集まり、学院は開講されました。狭いビルの一角を間借りし手弁当を持ち寄って、文字どおりの「寺子屋」が始まったのです。

しかし、財団の基盤を強固にし、学院を発展させていくためには、しっかりとした学問研究の場所を確保する必要がありました。そこで、創立者の私財をもとに、財団設立に協力して下さった篤志家の方々が、昭和57年「財団法人東方研究会強化募金運動」を開始されました。一高時代の同窓生（「昭８文乙クラス会」のメンバー）である中村敏夫弁護士をはじめとして、同じく星埜保雄、宇佐見鉄雄、倉知善一、新井正明氏らが発起人となり、その資金集めから場所の確保にいたるまで実に並々ならぬご尽力を下さいました。そのおかげで、諸方面から多数の賛同者・協力者を得ることができ、現在のこの場所を入手するにいたりました。東方学院は、これらの人々によって築かれた土台の上に、今日成り立っております。

以来、当学院は、優れた数多くの講師を迎え、多くの方々の善意と学問への熱意によって支えられ発展して参りました。

今後も創立者の遺志を継承し、初心を忘れることなく、ますます発展していきますことを心より念願しております。

公益財団法人中村元東方研究所
第2代理事長　中村洛子
（1919～2010）

中村元記念館　各講座受講のご案内

中村元記念館では、下記の講座を開講しています。

1. 東方学院松江校 (No.1-No.16)

受講するには、研究会員になる必要があります。
各講座の受講料は、8、9ページをご覧ください。

【研究会員について】

■年会費　3,000円

■会員特典

1．東方学院松江校の各講座を受講できます（8、9ページの表の受講料が別途必要です）。
2．中村元記念館ミュージアムショップで販売する書籍を会員割引価格（5％OFF）で購入できます。
3．中村元記念館で開催する中村元思想文化カフェに会員優待価格（20％OFF）でご参加いただけます。
4．次年度の「受講の手引き」を差し上げます。

※オンライン講座について

8、9ページの表にZOOM（又はハイブリッド※）と記載のある講座はオンライン形式で行います。
中村元記念館の会場での受講、もしくはご自宅での受講のどちらかをお選びください。
（詳しくは、7ページをご覧ください。）
※ハイブリッドは、講師が現地（記念館）に来られ、記念館会場からオンライン配信も行う形式です。

2. 中村元記念館文化講座 (No.17-No.22)

どなたでも受講できます。各講座の受講料をお支払いください。
（文化講座の受講生には、次年度の「受講の手引き」を差し上げます。）

＊受講料早期納入割引特典

各講義とも、**開講日の1週間前までにお申し込み・ご入金されると、受講料が1,000円割引**になります。
（注1）お申込書の提出だけでは割引は適用されません。1週間前までのご入金が必要です。
※開講日が土・日・月曜日の場合は、開講日直前の火曜日までとします。
（注2）東方学院松江校講座は**年会費・受講料の両方の入金**確認後に割引適用となります。

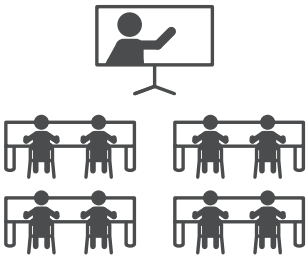
オンライン（ZOOM）講座について

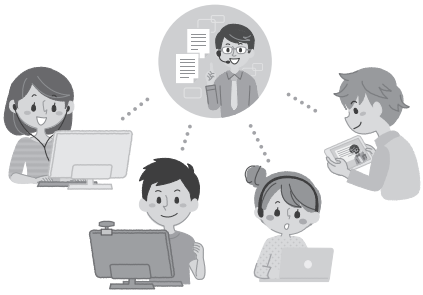
●オンライン講座を受講するには？（①または②よりお選び下さい）

①中村元記念館にお越しいただき、プロジェクターに投影した先生と記念館会場を結び、双方向でのコミュニケーションをとりながら受講していただきます。

②〈インターネット〉のつながる〈パソコン・スマートフォン・タブレットPC〉などがあれば、どなたでもご自宅からお気軽に受講できます。

→メールアドレス（gmail、yahooなどのフリーメールでも大丈夫です）が必要です。





・ZOOM〈ズーム〉というソフト（アプリケーション）を使ったオンライン講座です。
・オンライン「初心者の方」には、講義開始前に事務局から細かくサポートいたします。
・「ZOOMはじめてマニュアル」もご用意しております。
・本番の授業が始まる前に事務局スタッフと「動作確認」もいたします。
・オンライン講座お申込み → メールアドレスにマニュアル・招待状（URL、ID・PW（パスワード））のご送付
→ URLクリックまたは、ID・PW入力してアクセス → 画面を通して授業を受講できます

●オンライン講座の探し方

8、9ページ講義一覧「開催方法」の欄にZOOM、ハイブリッドと記載されている講座です。

2	『法華経』から学ぶ仏教入門	山口　弘江	6	ハイブリッド	1回／月 土曜日	13:20～14:50	4月20日	13,000　12,000
3	『日本的霊性』と「スピリチュアリティ」	岡　　宏	5	現地のみ	1回／月 第2土曜日	10:30～12:00	10月12日	9,000　8,000
4	インドにおける瞑想と造形～密教的観想法（サーダナ）の世界～	佐久間留理子	3	ZOOM	3回／月 日曜日	13:20～14:50	2025年 2月16日	7,000　6,000

オンライン講座が可能です

2　『法華経』から学ぶ仏教入門

【全6回】／開催方法：ハイブリッド

山口弘江（やまぐちひろえ）
駒澤大学仏教学部
准教授

受講料	会員料金：￥13,000　早割価格：￥12,000（納入期限：4月16日）

［日　程］【全6回】　1回／月　土曜日
（4/20、5/25、6/15、7/20、8/10、9/21）
［時　間］13：20～14：50
■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

●オンライン講座（自宅受講）のお申込みの仕方

※「受講申込書」のオンライン自宅受講の欄に○を記入して下さい。
※お申し込みの方には「具体的な手順や注意事項」をお送りいたします。
※オンライン講座に興味はあるけれども、はじめてなので心配であるという方、ご遠慮なく事務局までご相談ください。

（事務局連絡先：メール info@nakamura-hajime-memorialhall.or.jp
TEL 0852-76-9593　FAX 0852-76-9693）

中村元記念館 2024年度講義一覧

東方学院松江校

No	講義題目	講師名	回数	開催方法	日　程	時　間	開校日	会員料金	早割適用(▲千円)
1	曇鸞『往生論註（浄土論註）』を読む	齊藤　舜健	12	現地のみ	2回／月 第1・3・5 金曜日	13:20～14:50	4月19日	20,200	19,200
2	『法華経』から学ぶ仏教入門	山口　弘江	6	ハイブリッド	1回／月 土曜日	13:20～14:50	4月20日	13,000	12,000
3	『日本的霊性』と 「スピリチュアリティ」	岡　　宏	5	現地のみ	1回／月 第2土曜日	10:30～12:00	10月12日	9,000	8,000
4	インドにおける瞑想と造形～ 密教的観想法（サーダナ）の世界～	佐久間留理子	3	ZOOM	3回／月 日曜日	13:20～14:50	2025年 2月16日	7,000	6,000
5	日本神話と世界の神話 ―構造分析による比較	出口　　顕	3	現地のみ	3回／月 毎週水曜日	10:30～12:00	2025年 3月5日	5,800	4,800
6	現代インドの社会と文化	加藤　隆宏	4	現地のみ	5月31日 6月1日	13:20～14:50・15:00～16:30 10:30～12:00・13:20～14:50	5月31日	9,000	8,000
7	仏教における 二つの「無礙」思想について ―現代西洋哲学倫理思想との対照―	下田　正弘	4	ハイブリッド	6月10日 6月11日	13:20～14:50・15:00～16:30 10:30～12:00・13:20～14:50	6月10日	9,000	8,000
8	誰にでもわかる仏教	吉田　宏哲	4	ZOOM	6月12日 6月19日	13:20～14:50・15:00～16:30 13:20～14:50・15:00～16:30	6月12日	9,000	8,000
9	大乗仏教の論争 ―大乗は仏説なのか―	渡辺　章悟	4	ハイブリッド	7月12日 7月13日	13:20～14:50・15:00～16:30 10:30～12:00・13:20～14:50	7月12日	9,000	8,000
10	日本中世における修行道 ―法相宗・浄土宗・禅宗・日蓮宗を例に	蓑輪　顕量	4	現地のみ	8月3日 8月4日	13:20～14:50・15:00～16:30 10:30～12:00・13:20～14:50	8月3日	9,000	8,000
11	地蔵信仰の変遷 ―仏教の日本化の視点から	加藤みち子	4	ZOOM	8月17日 8月18日	10:30～12:00・13:20～14:50 10:30～12:00・13:20～14:50	8月17日	9,000	8,000
12	中村元博士の 思想研究の継承への試み （中村思想と比較文明学）	保坂　俊司	4	ZOOM	9月12日 9月13日	13:20～14:50・15:00～16:30 13:20～14:50・15:00～16:30	9月12日	9,000	8,000

No	講義題目	講師名	回数	開催方法	日　程	時　間	開校日	会員料金	早割適用（▲千円）
13	中村元博士の思惟方法	笠原　愛古	4	現地のみ	9月28日 9月29日	13:20～14:50・15:00～16:30 10:30～12:00・13:20～14:50	9月28日	9,000	8,000
14	仏教の基礎を学ぶ―私の仏教観	竹村　牧男	4	ハイブリッド	10月5日 10月6日	13:20～14:50・15:00～16:30 10:30～12:00・13:20～14:50	10月5日	9,000	8,000
15	真（まこと）の宗教と 社会倫理定義へのいざない	釈　悟震	4	現地のみ	10月20日 10月21日	13:20～14:50・15:00～16:30 10:30～12:00・13:20～14:50	10月20日	9,000	8,000
16	『歎異抄』が我々現代人に 伝えたいメッセージ	田中ケネス	2	ハイブリッド	11月7日	10:30～12:00 13:20～14:50	11月7日	5,000	4,000

※講義によっては日程の一部の週数が異なる場合があります。日程詳細は各講義案内のページをご確認ください。
※講義日は変更になる場合があります。休講、日程変更などの情報は、中村元記念館ホームページでご確認ください。
https：//www.nakamura-hajime-memorialhall.or.jp/
※オンライン講義は、記念館またはご自宅で受講できます。ご自宅で受講される方は7ページをご覧ください。

中村元記念館ホームページ

中村元記念館文化講座

No	講義題目	講師名	回数	開催方法	日　程	時　間	開講日	一般料金	早割適用（▲千円）
17	伝統芸道香道を学ぶ ―源氏物語をとおして―	大谷香代子	7	現地のみ	1回／月 第2木曜日	10:30～12:00	4月11日	12,200	11,200
18	初歩からはじめる仏像彫刻	石賀　善章	8	現地のみ	1回／月 第3火曜日	10:30～12:00	4月16日	13,800	12,800
19	仏教を判りやすく理解する 仏教概論	清水谷善圭	7	現地のみ	1回／月 第4水曜 ※12/18のみ第3水曜日	13:20～14:50	4月24日	12,200	11,200
20	マハーバーラタ上演の諸相 ～物語りの伝統から影絵の上演まで	瀬古　康雄	6	現地のみ	1回／月 第2土曜日 ※7/6のみ第1土曜日	13:20～14:50	5月11日	10,600	9,600
21	神楽・荒神（こうじん）・藁蛇（わらへび） ―中国地方の荒神祭祀（さいし）の世界―	中野　秋鹿	2	ハイブリッド	9月1日	13:20～14:50 15:00～16:30	9月1日	4,200	3,200
22	来松した外国人ハーニアンたちが 見た松江―何を見て何を感じたか―	岡﨑　秀紀	1	現地のみ	11月30日	13:20～14:50	11月30日	2,600	1,600

東方学院松江校 講義案内（受講料以外に年会費￥3,000が必要）

1　曇鸞『往生論註（浄土論註）』を読む

【全12回】／開催方法：現地のみ

齊藤舜健（さいとうしゅんけん）
浄土宗総合研究所
主任研究員

受講料	会員料金：￥20,200　早割価格：￥19,200（納入期限：4月12日）

［日　程］【全12回】　２回／月　第１・３・５金曜日
（4/19、5/17、6/7、6/21、7/5、7/19、10/4、10/18、11/15、11/29、12/6、12/20）
［時　間］13：20〜14：50

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

曇鸞『往生論註（浄土論註）』を読みます。本書は、浄土教の歴史において、易行道・難行道の二道説を立てて時と機に関して問題視し、『無量寿経』の阿弥陀仏の本願に着目して浄土往生の実践を確立した重要な著作です。中国においては道綽『安楽集』に重大な影響を与え、我が国では、源信『往生要集』、永観『往生拾因』、法然『選択集』、親鸞『教行信証』等に引用され、親鸞が自身の名に曇鸞から一字をとるほどに重要な意味をもちます。昨年度までの浄土三部経の講読に続いて、浄土教の重要典籍を講読してゆきます。

【参考書】
①曇鸞・道綽（『浄土仏教の思想』四）　著者：藤堂恭俊他　出版社：講談社　出版年：1995
②浄土論註（『仏典講座』二三）　著者：早島鏡正他　出版社：大蔵出版　出版年：1987

2　『法華経』から学ぶ仏教入門

【全６回】／開催方法：ハイブリッド

山口弘江（やまぐちひろえ）
駒澤大学仏教学部
准教授

受講料	会員料金：￥13,000　早割価格：￥12,000（納入期限：４月16日）

［日　程］【全６回】　１回／月　土曜日
（4/20、5/25、6/15、7/20、8/10、9/21）
［時　間］13：20〜14：50

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

鳩摩羅什訳『妙法蓮華経』（以下『法華経』）８巻は、東アジア、とくに日本の仏教界にもっとも大きな影響を与えた経典の一つです。「諸経の王」だと自称する『法華経』には、大乗仏教のエッセンスともいうべき重要な教えが随所に説かれています。そのため、歴史の中で多くの祖師によって学ばれ教えられ続け、今日もなお信仰が社会に根付いているのでしょう。

本講座では、『法華経』28章のなかでも伝統的にもっとも重要だとされる４つの章（四要品：方便品第二・安楽行品第十四・如来寿量品第十六・観世音菩薩普門品第二十五）から主要な経文を取り上げ、それぞれの用語にはどのような意味があるのかを基礎から学びます。また講義だけでなく講読も行い、経文を漢文で理解できるようになることを目指します。

各回は次のような内容を予定しています。

第１回　ガイダンス：『法華経』はなぜ「諸経の王」なのか
第２回　『法華経』をよむ（１）：一乗と三乗
第３回　『法華経』をよむ（２）：悪世の実践、安楽行
第４回　『法華経』をよむ（３）：如来のいのち
第５回　『法華経』をよむ（４）：観音さまのすくい
第６回　まとめ：『法華経』の思想と文化

【参考書】

①『法華経』（現代語訳大乗仏典２）　著者：中村元　出版社：東京書籍　出版年：2003
②『法華経入門』　著者：菅野博史　出版社：岩波新書　出版年：2001
③『法華経』上・下（仏典講座７）　著者：田村芳朗・藤井教公　出版社：大蔵出版　出版年：1988

3　『日本的霊性』と「スピリチュアリティ」

【全５回】／開催方法：現地のみ

岡（おか）　宏（ひろし）
近畿大学
生物理工学部講師
中村元記念館
東洋思想文化研究所
研究員

受講料	会員料金：￥9,000　早割価格：￥8,000（納入期限：10月８日）

［日　程］【全５回】　１回／月　第２土曜日
（10/12、11/9、12/14、2025/2/8、3/8）
［時　間］10：30〜12：00

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

本邦においてSpiritualityやSpiritual Careについて考える時、「日本の」と限定を付して考えているのかと思うことがある。本邦でSpiritualityを「霊性」と訳すことがあるが、そこには鈴木大拙が「日本的霊性」と表現したことが少なからず影響している。

さらに、その著書『日本的霊性』では、宗教心の根源を成す「霊性」の全面的な開顕を「浄土思想」と「禅」とに関連付けて語ってみせた。かつて和辻哲郎は『風土』の中で、人間の営みは時間的･空間的所産と評した。『日本的霊性』が、「日本における霊性」を、宗教の「時間的」「空間的」営みに関連づけて語ったように、同じ手法で「○○的霊性」を考える必要がある。すなわち、「霊性」も「Spirituality」も、「○○における」内実が国によって異なる以上、言葉や宗教に違いがあるように、「霊性」も国によって異なりが生れる。つまり、「○○的霊性」は、各国の宗教文化との連関で考える必要がある。

ところで、現代ではスピリチュアリティ（＝「霊性」）を考える時、必ずしも宗教との関連を考えない傾向がある。宗教や信仰を持たないが、「霊性」には関心を寄せる人々がいる。例えば、自然の摂理と一体化した人間の営み、中にはアニミズム的なものも少なからずある。現実世界の超越的存在に畏敬の念を抱く場合もある。スピリチュアリティの定義は、必ずしも一定とは言えないだけでなく、宗教と関連づける必要性を考えない場合もある。確かに鈴木大拙の「禅の思想」は、哲学的要素を多分に併せ持っているようにも感じられる。斯様な現実に理解を示す必要もある。

本講では、鈴木大拙著『日本的霊性』を読みながら、本邦のSpiritualityやSpiritual Careの諸相について考え、さらに、「ケア」としての可能性についても考えてみたい。

【講義計画】
第１回『日本的霊性』と「スピリチュアリティ」①
第２回『日本的霊性』と「スピリチュアリティ」②
第３回『日本的霊性』と「スピリチュアリティ」③
第４回『日本的霊性』と「スピリチュアリティ」④
第５回『日本的霊性』と「スピリチュアリティ」⑤

【備　考】
講義に必要な資料は各回、配布します。

4　インドにおける瞑想と造形～密教的観想法（サーダナ）の世界～

【全３回】／開催方法：ZOOM

佐久間留理子（さくまるりこ）
大阪観光大学観光学部
教授
中村元東方研究所
理事

受講料	会員料金：￥7,000　早割価格：￥6,000（納入期限：2025年２月12日）

［日　程］【全３回】　３回／月　日曜日
（2025/2/16、3/2、3/16）
［時　間］13：20～14：50

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

第一回　密教的観想法の成立背景

密教的観想法の成立背景として、インドにおける世界観（宇宙観）、供養法（プージャー）、瞑想法、仏教パンテオン（仏教諸尊の組織体）について概説します。

第二回　ターラーなどの女神の密教的観想法

インドにおいて12世紀頃までに個別に成立した密教的観想法の集成に、『サーダナ・マーラー』（成就法曼）があります。バッタチャリヤ校訂本によれば、この文献には、仏、菩薩、女神、忿怒尊などの312の密教的観想法が含まれています。その中、ターラーなどの女神の密教的観想法を取り上げ、解説します。

第三回　観音などの菩薩の密教的観想法

『サーダナ・マーラー』（成就法曼）に収録された観音などの菩薩の密教的観想法を取り上げ、解説します。なお、講義の進捗状況により、各回の授業内容は、上記とは若干異なる場合があります。

【参考文献】

①『観音菩薩』　著者：佐久間　留理子　出版社：春秋社　出版年：2015
②『インド密教の観自在研究』　著者：佐久間　留理子　出版社：山喜房仏書林　出版年：2011
③『マンダラ観想と密教思想』　著者：立川武蔵　出版社：春秋社　出版年：2015

5　日本神話と世界の神話―構造分析による比較

【全３回】／開催方法：現地のみ

出口　顯（でぐち　あきら）
島根大学名誉教授
中村元記念館
東洋思想文化研究所
研究員

受講料	会員料金：￥5,800　早割価格：￥4,800（納入期限：2025年２月26日）

［日　程］【全３回】　３回／月　毎週水曜日
（2025/3/5、3/12、3/19）
［時　間］10：30〜12：00

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

1. まず、古事記のスサノヲに殺害されたオホゲツヒメの体から穀物が発生するという日本神話を読む。このエピソードと類似した内容の神話が、ハイヌヴェレ型神話として特にメラネシアで語られていたことを、日本の神話学者吉田敦彦の研究により紹介し、日本神話は他に類を見ないユニークな神話ではないことを講義する。
2. ついで吉田敦彦に大きな影響を与えたフランスの神話学者ジョルジュ・デュメジルのインド＝ヨーロッパ語族の３機能体系の考え方を紹介する。デュメジルによればインド・ヨーロッパ語族の神々の体系は、主権＝司祭的神、戦闘神、農耕神の３層に分かれ、序列化されている。それは神話を語る社会の構造とも対応する。では日本神話にも類似した特徴が見られるかを吉田敦彦や大林太良の研究を通じて考える。
3. 現代の神話研究に大きな功績を残したフランスの人類学者クロード・レヴィ＝ストロースの構造分析の特徴を彼の主著『神話論理』によりながら講義する。レヴィ＝ストロースによれば、神話には二項対立・媒介・変形という特徴があり、それらにより、制度や事物の始まりにいかに適正な距離が設定されたかが物語られるという。このような理論の紹介を踏まえて、レヴィ＝ストロース自身による「因幡の白兎」と北米先住民神話の比較を紹介し、古代日本と北アメリカ先住民の神話的思考の類似性を考える。

【参考書】

吉田敦彦　『小さ子とハイヌヴェレ』　みすず書房
クロード・レヴィ＝ストロース　『構造・神話・労働』　みすず書房
クロード・レヴィ＝ストロース　『月の裏側』　中央公論新社

6　現代インドの社会と文化

【全４回】／開催方法：現地のみ

加藤隆宏（かとうたかひろ）
東京大学大学院
人文社会系研究科
准教授

受講料	会員料金：￥9,000　早割価格：￥8,000（納入期限：５月24日）

［日程・時間］【全４回】　５月31日（金）13：20〜14：50・15：00〜16：30
６月１日（土）10：30〜12：00・13：20〜14：50

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

近年、さまざまな分野で存在感を増すインド。人口は14億人を突破して世界一、ＧＤＰでも英仏を抜いて世界５位に躍り出ました。

本講座では、成長著しいインドの最新情報を取り入れながら、これからの日印関係について考えていきます。

前半２回でインドの今を概観し、後半２回では現代インドの社会課題について学びたいと思います。

【講義計画】

第１回　現代インドの基礎知識
第２回　インドの最新情報（日印学術交流を中心に）
第３回　インド社会の課題と展望（カースト制度など）
第４回　インド社会の課題と展望（新仏教など）

7　仏教における二つの「無礙」思想について―現代西洋哲学倫理思想との対照―

【全４回】／開催方法：ハイブリッド

下田正弘（しもだ まさひろ）
武蔵野大学教授
東京大学名誉教授

受講料	会員料金：￥9,000　早割価格：￥8,000（納入期限：6月4日）

［日程・時間］【全４回】6月10日（月）13：20〜14：50・15：00〜16：30
6月11日（火）10：30〜12：00・13：20〜14：50

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

人類の歴史において、故郷を喪失し、流浪の民となった民族に、ユダヤ民族とチベット民族があります。一方のユダヤは、三千年を超える時をかけて、故国を「恢復」し、そこを定住の地とするために異邦人を排除し、暴力を発動しつづけています。それに対し、チベットは、異郷の地に、みずから異邦人として身を置いたままに、暴力を徹底して放棄し、仏教の実践と布教に専心しています。

きわだった対照をなすこの両者について、一見すると前者に胆勇を、後者に怯弱を見てしまうかもしれません。けれども、人類の悲願である平和は、間をおかず、即刻に実現されるべきものであり、かつそれは自他の別なく、万人に通じるものでなければなりません。あらゆる蛮勇は、それがふるわれるまえ、時間を一瞬、宙づりにし、その隙間に、「他」を「自」に取り込む策略と力とが整えられています。暴力の執行を可能にするもの、それはこの「時間の繰り延べ」にあり、そこには「他」をまえにして「自」が崩壊し、消失することを恐れる怯懦があります。

釈尊以来、托鉢と遊行を説き、智慧から慈悲への展開を説く仏教の実践には、人間の意識の深層に宿る、この本性的な障害を超え、平和を実現する倫理的、哲学的思想の可能性が秘められています。その完成された思想は、華厳にみられる二つの「無礙」、すなわち「理事無礙」と「事事無礙」に確認することができます。かつて鈴木大拙は、日本が滅び去らんとする戦中から戦後にかけ、この思想こそが世界平和を実現し、日本が立ってゆく基礎になることを切実に訴えていました。

この仏教思想の完成された内容は、現代の西洋倫理思想と対照させることによって、新鮮なかたちで明瞭になってきます。本講義では、この二つの「無礙」思想の内実を、現代の西洋倫理思想を代表する思想家であるエマニュエル・レヴィナスの所論と、それを精緻に批判したジャック・デリダの思想を対比することによって、解明します。これを通して、世界平和を実現する仏教思想の可能性と、それによって日本が進むべき道がみえてくることを期待しています。

8　誰にでもわかる仏教

【全４回】／開催方法：ZOOM

吉田宏哲（よしだ こうせき）
大正大学名誉教授
真言宗智山派宗機顧問
宥勝寺住職

受講料	会員料金：￥9,000　早割価格：￥8,000（納入期限：6月5日）

［日程・時間］【全４回】　6月12日（水）13：20〜14：50・15：00〜16：30
6月19日（水）13：20〜14：50・15：00〜16：30

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

仏教の教義は空だとか縁起だとか、中観とか唯識とか、難しいことを言っていて、どうもよくわからないという話をよく聞く。特に南都六宗とか、平安時代の天台、真言などの教義は、しっちゃかめっちゃか難しくて、そのために鎌倉時代に入って、浄土宗や禅宗等の信一筋、行一筋の仏教が多くの人々に信仰されるようになったと言われてきた。

実際、現在の日本仏教の宗派人口の割合は、浄土系（浄土真宗本願寺派・大谷派、浄土宗）が約3000万人、禅宗系が約400万人、日蓮宗系が約350万人となっていて、真言宗系（高野山真言宗、真言宗智山派、豊山派等）の600万人、天台宗136万人などに比べると、鎌倉仏教の方が平安仏教に比べて５倍以上の信者数になっています。これには新興宗教人口の数が入っていないので、十全な比較にはなっておりませんが、平安仏教と鎌倉仏教の宗教人口の概算的な比較はできていると思います。

ところで仏教の開祖はお釈迦様ですが、その開祖の教えがこれほどまでに多岐にわたって林立したのは何故なのでしょうか。もともとお釈迦様の教えはどのようなものであり、それは何を解決し、人々は何を信じて今日まで来たのか。また仏教は世界の他の宗教とどう違うのか。あるいは更に言えば、今日の世界で起こっている対立や抗争（ウクライナとロシア、パレスチナとイスラエル等）に仏教徒はなにかができるのか、こういった素朴な疑問に答えを出すこと、これが今回の講義の目標です。

【目　次】

（１）仏教の開祖、釈尊の最初の教え。初転法輪の説かれた状況と内容。
（２）苦諦（四苦八苦という真理）の意味とその後の誤解。
（３）集諦（苦の原因の集まりという真理）苦の原因の集まりとは何か。
（４）滅諦（苦の原因の集まりがなくなったらどうなるかという真理）。涅槃。
（５）道諦（苦の原因の集まりをなくす方法と実践という真理）。八正道とその後の展開。
（６）病気の苦とその原因の集まりとその治療法とその快癒という結果の状態と、四苦八苦の解決という仏教の教義との歴史的な比較。中観・唯識・如来像・天台・華厳思想。浄土思想・禅・日蓮。
（７）世界の他の宗教と仏教との違い。
（８）世界の諸思想と科学思想と仏教との比較。
（９）弘法大師空海の比較思想と密教。
（10）興教大師覚鑁の密教と浄土教。

9　大乗仏教の論争―大乗は仏説なのか―

【全４回】／開催方法：ハイブリッド

渡辺章悟（わたなべしょうご）
東洋大学名誉教授

受講料	会員料金：￥9,000　早割価格：￥8,000（納入期限：7月5日）

［日程・時間］【全４回】　７月12日（金）13：20～14：50・15：00～16：30
７月13日（土）10：30～12：00・13：20～14：50

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

昨年度は「大乗仏教とは何か」というテーマで、その起源と展開から、大乗仏教を貫く主要な思想を解説しました。今年度は大乗仏教の確立をめぐって引き起こされた論争に焦点を当てて大乗仏教の問題点を解説してゆきます。

インド仏教のなかでは後発だった大乗仏教が、その権威を確立するためには、伝統仏教との論争を待たねばならなかった。そこで〈大乗とは何か、大乗仏教は仏説なのか〉（大乗仏説・非仏説論）、〈さとりに至る道はどのようなものなのか〉（一乗・三乗説）といった問題が中心テーマとなり、仏教徒の間で大きな論争となった。今でいうディベートである。

その発端は大乗仏教経典や当時の諸資料にみられるが、そればかりでなく大乗の学僧による論書や、それを継承した東アジアの仏教僧も「一乗」や「三乗」・「四乗」の論争としてより深い思索を加えてきた。日本仏教の祖師たちもこの問題をめぐって論争を繰り返しながら、自らの教えの研鑽に努めてきた。

本講はこれらの問題に焦点を当てて、４回にわたって講義する予定です。受講者は特別な準備は不要です。パワーポイントを使って初心者にもわかるように解説いたします。

第一講　大乗仏説・非仏説の論争　〈インド仏教史から〉
第二講　大乗仏説・非仏説の論争　〈日本仏教の論争と展開〉
第三講　さとりに向かう道　〈インド大乗の一乗と三乗〉
第四講　さとりに向かう道　〈日本仏教の一乗説〉

【参考書】
①般若経の思想　著者：渡辺章悟　出版社：春秋社　出版年：2019

10　日本中世における修行道―法相宗・浄土宗・禅宗・日蓮宗を例に

【全４回】／開催方法：現地のみ

蓑輪顕量（みのわ けんりょう）
東京大学大学院
人文社会系研究科
教授

受講料	会員料金：￥9,000　早割価格：￥8,000（納入期限：7月30日）

［日程・時間］【全４回】　８月３日（土）13：20〜14：50・15：00〜16：30
８月４日（日）10：30〜12：00・13：20〜14：50

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

仏教は体験の宗教であると言われる。それは釈尊が、悩み苦しみから逃れるために、身心の観察を行ったことに起因する。この身心の観察が、初期には念処と呼ばれ、後には止観という名称で呼ばれるようになった。

このような仏教における身心の観察は、日本仏教の中にも伝わった。それは飛鳥時代の道昭から始まり、平安時代の最澄や徳一を通じて、徐々に広まったと見ることができる。

本年の講義は、前年度の平安時代に引き続き、日本の中世の時代、仏教者たちがどのような修行を行い、またどのように修行を捉えていたのかを考察する。まず法相宗では中川実範や南都で活躍する貞慶が注目され、次いで中世初頭では浄土宗の法然が注目される。その後、禅宗が興起し、栄西、円爾弁円、蘭渓道隆を経て、日本の仏教界に達磨禅が定着していくのであるが、その彼らの提唱した修行道を、インド仏教初期の瞑想大系と比較しながら考察する。最後に、日蓮の主張の中にも、同じく仏教修行の実際が垣間見られるので、それも考察の対象とする。

概して、日本の仏教を捉える視座は教理・教学に偏りがちなので、修行道という観点から、実際の僧侶の方達が、どのような修行を、どのようなことを理論的な背景としながら、実践していたのかを考えてみたい。講義の中では、時代順に法相宗、浄土宗、禅宗、日蓮宗の僧侶に焦点を当てて、その実体を明らかにする。

第１講　法相宗僧侶における修行
第２講　浄土宗僧侶における修行
第３講　禅宗僧侶における修行
第４講　日蓮宗僧侶における修行

【参考書】

①『仏教瞑想論』　著者：蓑輪顕量　出版社：春秋社　出版年：2008
②『日本仏教史』　著者：蓑輪顕量　出版社：春秋社　出版年：2015

11　地蔵信仰の変遷―仏教の日本化の視点から

【全４回】／開催方法：ZOOM

加藤（かとう）みち子
武蔵野大学
特任教授
中村元東方研究所
主任研究員

受講料	会員料金：￥9,000　早割価格：￥8,000（納入期限：８月16日）

［日程・時間］【全４回】　８月17日（土）10：30～12：00・13：20～14：50
８月18日（日）10：30～12：00・13：20～14：50

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

道端の「お地蔵様」は、現在でも多くの日本人に親しまれていますが、地蔵信仰とは何かということや、仏教とのかかわりについては、かならずしも明確に理解がなされていないようです。本講座では地蔵信仰のインド・中国からのうつりゆきと、日本で独自の発展をとげる様相と、現在へのつながりを、具体例やスライドを見ながら考えていきたいと思います。

１時限目　インド・中国における地蔵信仰―仏教の中の地蔵
まず、仏教経典の中での「地蔵菩薩」の位置づけから読み解いていきます。インド成立経典のクシティガルパがどのような性格の菩薩であったのか、日本の「おじぞうさま」との相違に着目して読み解きます。

２時限目　閻魔大王と地蔵信仰
ここでは、閻魔信仰とのかかわりで人気を博していく、日本の地蔵菩薩信仰について、日本中世における「地蔵信仰」発展の背景から考えていきます。

３時限目　地蔵信仰の諸相
道祖神と習合し道端にまつられる地蔵尊、そして賽の河原で子供たちの守護者として活躍する地蔵菩薩がどのように生み出され、発展したのかをみてゆきます。

４時限目　江戸時代から現代へ―地蔵信仰の展開
六地蔵や、笠地蔵、しばられ地蔵や身代わり地蔵、水子地蔵まで、日本で現在も親しまれる、地蔵菩薩のいろいろな姿がどのようにうみだされ、現代でも祀られ続けているのかを整理し、仏教の日本化ということ考えていきます。

【参考文献】
・速水侑　『地蔵信仰』　はなわ新書　1975年
・下泉全暁　『地蔵菩薩』　春秋社　2005年
・田中久夫　『地蔵信仰と民俗』　岩田書院　2008年
・松崎憲三　『地蔵と閻魔と奪衣婆』　慶友社　2012年

12　中村元博士の思想研究の継承への試み（中村思想と比較文明学）

【全４回】／開催方法：ZOOM

保坂俊司（ほさかしゅんじ）
中央大学大学院教授
比較文明学会会長

受講料	会員料金：￥9,000　早割価格：￥8,000（納入期限：9月5日）

［日程・時間］【全４回】　9月12日（木）13：20〜14：50・15：00〜16：30
9月13日（金）13：20〜14：50・15：00〜16：30

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

中村先生の偉大さは、云うまでもないことであるが、その偉大さが、仮に個人のレベルの偉大さに止まるならば、その学問的な評価は、時代と共に逓減ししてしまう可能性は、決して小さくない。勿論、学問的な意義は決して摩滅するわけではないが、如何に偉大な業績であっても、時代と共に生きる部分があり、その時代性を含めて偉大な業績と評価されるのであるから、中村先生の業績も、それぞれの時代背景を加味しつつ評価されることで、受け継がれ、それに依ってその意義もそれぞれ検討されつつ引き継がれてこそ、偉大な業績であり続けるわけである。逆に言えば、中村先生の偉大さを示す為には、その学問のあり方が、引き継がれることも必要な要素ということになる。

というのも、歴史上、生存時には華々しい評価を受けつつ、時代と共に忘れ去られた思想家は少なくない。一方で、時代と共に評価を上げる、あるいは高い評価を受け続ける思想家も少なくない。

一般に偉大なる思想家という場合は、多様な意味を含むが、ここでは、質量共にその研究活動、思索の深さ等々において、その時代を代表する思想家･研究者と一応の定義を行いう。そうすると、中村元先生の存在は、明治以来の偉大とされる思想家、哲学者（これらの言葉は、本来の意味は余り変わらないが、アカデミックに特殊化している部分が誤解を生じている。ここでは両者をほぼ同じとする）の中でも、昭和後期から平成を代表する哲学者としての評価は、不動である。勿論、時代を超えた偉大さもある。

が、しかし、偉大な哲学者であっても、その思想は、常に読み継がれ、解釈されつつ継承される必要がある、その為には、中村思想の業績の単なる祖述に止まってはならない訳である。つまり、中村思想と批判的に対峙し、それの真髄に迫る事を目指さなくては、中村思想の継承とは云えないのではないか、と私は考える。勿論、浅学非才な私であるが、中村先生の謦咳に接し、思想研究者たり得た私は、中村思想の一端であっても伝えてゆく義務があるように感じている。

中村先生は「奴隷の学問を脱するために、私が一番槍になります」と好んで話された。この言葉は、単に日本の思想界の事に止まらず、現今の日本社会の停滞の遠因ともなっている近代日本思想への中村先生独特の批判が込められた表現であるが、それに止まらず、中村先生の真の学問のあり方、つまり真理への探求への決意が見事に表わされている言葉である。

今回は、中村思想の継承をテーマに、拙著「インド宗教興亡史」（ちくま新書）を題材としたい。

【参考書】

①インド宗教興亡史　著者：保坂俊司　出版社：筑摩書房　出版年：2022
②ヒンドゥー教と叙事詩（決定版中村元選集第30巻）　著者：中村元　出版社：春秋社　出版年：1996
③比較思想論（岩波全書　247）　著者：中村元　出版社：岩波書店　出版年：1984

13　中村元博士の思惟方法

【全４回】／開催方法：現地のみ

かさはらなるひさ
笠原愛古
中村元記念館前学芸員
中村元記念館
東洋思想文化研究所
研究員

受講料	会員料金：￥9,000　早割価格：￥8,000（納入期限：９月24日）

［日程・時間］【全４回】　９月28日（土）13：20〜14：50・15：00〜16：30
９月29日（日）10：30〜12：00・13：20〜14：50

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

この度、先生がたのご推挙により「中村元博士の思惟方法」と題して、お話をさせていただくこととなりました。私の専門は歴史の研究ですが、2013年から2020年までは中村元記念館の学芸員として、それ以降は研究員として中村博士をご紹介してきました。その経験の中で得たものを役立てていただけるならとお引き受けした次第です。

さて本講義の内容は、簡単にいえば中村博士ご自身の書かれたモノ（テクスト）から「中村博士ご自身の考え方」を明らかにしようという試みです。中村博士は「インド哲学思想」・「大乗仏教思想」・「日本思想」など多くの研究を遺しておられますが、本講義で扱うのは中村元博士の思想、いわば「中村元思想」とすれば理解されやすいでしょうか。

例えば、中村博士の『インド人の思惟方法（東洋人の思惟方法１）』にはネパール国王から中村博士宛に送られてきた「年賀状」が紹介されており、中村博士はそこに「世界一般に通ずる普遍的なもの」、「世界が次第に諸宗教の対立を超えたところに、尊ぶべきもの」を読み取ろうとされています。また、一昨年上梓された『論点・東洋史学　アジア・アフリカへの問い158』（ミネルヴァ書房、2022）も、中村博士の著作『釈尊の生涯』（平凡社ライブラリー、2003）を紹介しつつ「中村の意図としては、―仏教徒であるか否かを問わず、人類にとって共通の精神的遺産を求めようとするための作業とされているところが興味深い」（７頁）と指摘されています。ここで重要なのは没後20年を経てもなお、中村博士のお仕事が色褪せず、学問的な領域を超えて理解されつつあるということです。

いま一つ重要なこととして、中村博士は、世界平和への道として自らの思想研究を位置付けられました。2022年２月24日には「世界秩序の危機」とされるウクライナへの侵略戦争、2023年にはパレスチナ・イスラエル戦争が起こり、事態はなお進行中です。世界が混迷を深めていく中で、今わたしたちは中村元博士から何を学びうるのでしょうか。中村博士に関心のある方のみならず、中村博士の思想史研究に関心のある方の受講もお待ちしております。

【参考書】
①東洋思想の巨星　中村元物語　著者：中村元記念館　出版社：ハーベスト出版　出版年：2016
②はじめのはじまり　中村元博士少年時代の作文集　著者：中村元記念館　出版社：ハーベスト出版
出版年：2022

14　仏教の基礎を学ぶ―私の仏教観

【全４回】／開催方法：ハイブリッド

竹村牧男（たけむらまきお）
東洋大学名誉教授

受講料	会員料金：￥9,000　早割価格：￥8,000（納入期限：10月１日）

［日程・時間］【全４回】　10月５日（土）13：20〜14：50・15：00〜16：30
10月６日（日）10：30〜12：00・13：20〜14：50

■受講に必要なもの
レジュメ配布

世界には、さまざまな宗教が存在しているが、そのなか、仏教という宗教は、どのようなものなのか、その基礎から学ぶことを目的とする。仏教には、いわゆる小乗仏教や大乗仏教など、種種の仏教があるが、ここでは主に大乗仏教の基本を学ぶこととする。

初めに、宗教とは何なのかについて、宗教学の種種の知見を学ぶとともに、宗教と倫理・道徳等の違いについて、西田幾多郎の宗教哲学における説により理解を深める。

次に、大乗仏教の中心的な教理である「空」と「縁起」について、「我」と「法」という観点に基づきつつ、解説する。縁起の思想は、世俗諦と勝義諦の異なる地平において、適切に理解されるべきことをも解説する。

次に、大乗仏教に説かれる仏という存在の内容について、菩提（智慧）と涅槃とから説明し、法身・報身・化身等の仏身論についても解説する。また、三世十方多仏説の内容、仏が住まう仏国土などについてもふれる。

最後に、修行の道筋の見方や、初発心より成仏するまでに要する時間等について、主に唯識思想の立場を説明すると同時に、特にその初心の段階の修行のありかたや、基本的な修行とされる六波羅蜜等について解説する。さらに自力と他力の問題についても考えてみたい。

以上、「第一講・宗教とは何か、第二講・空と縁起について、第三講・仏とは何か、第四講・仏道修行について」、という組み立てで、仏教の全体像についての理解を深めていただこうと考えている。

15　真の宗教と社会倫理定義へのいざない

【全４回】／開催方法：現地のみ

釈　悟震

・中村元東方研究所
　常務理事
・中村元記念館
　東洋思想文化研究所
　副所長
・文学博士
・スリランカ国立
　ベーラデニヤ大学
　客員研究員
・中村元東方研究所
　副総括研究員

受講料	会員料金：￥9,000　早割価格：￥8,000（納入期限：10月15日）

［日程・時間］【全４回】　10月20日（日）13：20〜14：50・15：00〜16：30
10月21日（月）10：30〜12：00・13：20〜14：50

■受講に必要なもの

［テキスト］**古書店等でお求めください。**

但し購入出来なかった方々には「担当講師より講義分複写」にて対応しますのでご安心なさいますよう。

『宗教と社会倫理―古代宗教の社会理想』
著　者：中村元著
出版社：岩波書店
出版年：1983

【講義の内容】

〈宗教はどのような社会理想を目指していたのか〉といういざないを、不動の根本仏教のみなもとを育む古代インドの思想により今によみがえさせる講義として昇華できることを大いに期待をいたしております。

日本において「宗教」という言葉は、社会的な事件が起きたときに否定的に取り上げられがちです。しかし、そもそも宗教には人々の幸福を願う理想があったに違いないと思います。そして今日の日本でも、政教分離の原則はあれども、宗教と社会・生活は密接な関係にあります。

宗教と政治／国家／経済／社会政策の関係や、インド宗教の根幹ともいうべきヒンドゥー教や原始仏教の思想が古代インドのみならず、今日に至るまで全人類の社会理想にどのように関わっていたかを、中村元博士がまとめあげた「不朽の名著」から、そのいざないを学びたいと思います。

最初期の仏教聖典の根本思想を中心に、不朽の人類の聖典ともいうべき古代インド思想が刻まれているウパニシャッドや関係ある諸々の思想から導き出す真の宗教と社会倫理の定義を中村元先生以外のどなたにも触れることが出来なかった真髄へのいざないを本講義ならであるからこそ実体験できることを念願いたしております。

16 『歎異抄』が我々現代人に伝えたいメッセージ

【全２回】／開催方法：ハイブリッド

田中（たなか）ケネス
武蔵野大学名誉教授

受講料	会員料金：￥5,000　早割価格：￥4,000（納入期限：10月31日）

［日程・時間］【全２回】 11月７日（木）10：30〜12：00・13：20〜14：50

■受講に必要なもの
［テキスト］レジュメ配布

『歎異抄』は、浄土真宗の宗門の壁を越え注目され、幅広い層の人々の間で人気を呼んでいる宗教書物です。海外でも日本仏教を代表する書物として数ヶ国語に訳され、英語だけでも10冊以上の訳が存在します。

前回は英訳を通して『歎異抄』を学びましたが、今回は、日本語で本書の要点を見ていくことにします。『歎異抄』は、日本が誇ることができる素晴らしい宗教書でありますが、そこには、宗教的価値観に基づきながら、現代の社会的問題を考えるメッセージが潜んでいると思われます。

それらのメッセージは、現代社会における差別、分断、格差などに対する平等観、自己反省、一体性、主体性などの価値が含まれていると言えます。例えば、第５章で親鸞は、「一切の衆生が父母・兄弟である」という趣旨のことを述べています。もちろん種々な解釈は可能でありますが、ここに、親鸞の平等観と一体性を見出すことができ、宗教的な視点より経済的格差や他者への偏見と差別などを考え、行動と実践の原動力につながると考えます。

どうかこの講座で、個人の内面の安定だけでなく、世の中の種々な課題に積極的に向き合えるメッセージを、一緒に『歎異抄』から発掘致しましょう。

中村元記念館文化講座 講義案内（年会費不要､受講料のみ必要）

現代社会のなかでどのように生きていくのか、東洋の文化に改めて向き合ってみませんか。
受講料のみで参加できます。お気軽にご参加ください。

17　伝統芸道香道を学ぶ―源氏物語をとおして―

【全７回】／開催方法：現地のみ

大谷香代子（おおたにかよこ）
（公財）お茶の会理事
出雲文化伝承館特別顧問
香道御家流和草会主宰

受講料	一般料金：￥12,200　早割価格：￥11,200（納入期限：4月4日）

［日　程］【全７回】　１回／月　第２木曜日
（4/11、5/9、6/13、7/11、10/10、11/14、12/12）
［時　間］10：30～12：00

■受講に必要なもの
レジュメ配布　材料代（香木炭団和紙など）1,000円（各回毎）

NHK大河ドラマ「光る君へ」として本年１月より取り上げられています「源氏物語」及び作者紫式部関係のドラマ、どの様に描かれていくのか楽しみです。

本講座では、“香りを通して「源氏物語」を知る”講座として２年前から、「組香」という「香道」の楽しみ方を体験しながら、「源氏物語」の人間関係とあらすじを会得し、日本の美意識の源泉でもあるとする「源氏物語」を学んで参ります。

香木の種類　六国五味も経験して、日本の伝統芸道「香道」の良さに触れていただきます。

途中参加となる方々にも十分ご理解いただける様に、補足説明しながら進めて行きます。

第１回　香の種類　香の聞き方作法
　　体験組香　源氏物語「野分」「行幸」
第２回　記録の書き方　重硯の使い方
　　組香　源氏物語「藤袴」「真木柱」
第３回　香道具の名称
　　組香　源氏物語「梅ケ枝」「藤裏葉」
第４回　香道の歴史
　　組香　源氏物語「若菜上」「若菜下」
第５回　香道の様々
　　組香　源氏物語「柏木」「横笛」
第６回　香席について
　　組香　源氏物語「鈴虫」「夕霧」
第７回　香道と文学
　　組香　源氏物語「御法」「幻」「雲隠」

来年度は、繋三帖から宇治十帖へと進み、54帖の完結予定です。

18　初歩からはじめる仏像彫刻

【全８回】／開催方法：現地のみ

石賀善章（いしがよしあき）
倉吉市文化財協会理事
鳥取県文化財保護指導員
倉吉市美術展無鑑査

受講料	一般料金：￥13,800　早割価格：￥12,800（納入期限：４月９日）

［日　程］【全８回】　１回／月　第３火曜日
（4/16、5/21、6/18、7/16、8/20、10/15、11/19、12/17）
［時　間］10：30〜12：00

■受講に必要なもの

［テキスト］**古書店等でお求めください。**

『仏像彫刻のすすめ』
著者：松久朋琳
出版社：日貿出版社
出版年：2016

〈必要な持ち物〉彫刻刀８本程度（一本あたり1,500円程度）

日本における仏像彫刻技法は平安時代の仏師、定朝によって確立されました。

以来、その伝統は時々の時代に翻弄されつつも現在に受け継がれています。

当講座では仏像彫刻の魅力を紹介しながら実際に彫刻していただき、刀物の使い方の基礎である地紋彫りから、救世観音像及び聖観音像の造像まで学んで頂きます。

基本的にはご自宅での作業となりますが、各回それぞれ皆様の題材に合わせ直接アドバイス及び添削させて頂きます。

必要用具としては彫刻刀（セット品に買い足しても可）、筆記用具。用材の桧材は課題に合わせて販売いたします（檜材300円〜2,000円程度）。

またテキストは配布いたしますが、より深く仏像彫刻を学ばれる方は、下記の参考書をご用意されると良いでしょう。

その他、経験者の方には別途、課題の図面や用材を用意させて頂きます。

基礎から学び安全に、長い歴史と信仰に育まれた仏像彫刻の優美さを自ら体験しつつ、世界に二つとない御自身の祈りのかたちを具現化して頂ければ幸いです。

【参考書】

『続仏像彫刻のすすめ』　著者：松久朋琳、松久宗琳　出版社：日貿出版社　出版年：2007

19　仏教を判りやすく理解する仏教概論

【全７回】／開催方法：現地のみ

清水谷善圭（しみずたにぜんけい）
中村元記念館理事長
清水寺長臈

受講料	一般料金：￥12,200　早割価格：￥11,200（納入期限：4月17日）

［日　程］【全７回】　１回／月　第４水曜日　※12/18のみ第３水曜日
（4/24、5/22、6/26、7/24、10/23、11/27、12/18）
［時　間］13：20〜14：50

■その他
［テキスト］※記念館で初回に購入
①仏教聖典（税込）220円
出版社：公益財団法人　仏教伝道協会
出版年：1973

仏教は難解だと誤解している方が未だ沢山おられます。50年間清水寺貫主を務めた講師の仏教理解を軸として、仏教の歴史、覚りを目指したゴータマ・シッダールタ（釈迦）の動機と目的、娑婆世界（私達が暮らす世界）の認識（四諦八正道）、初期仏教の教え、大乗仏教（空と般若心経）･密教（神仏習合）の起こりから中国･韓国・日本への伝搬、教えの変化を確認し、釈迦は何を説き、何を訴えようとしたのかを仏教伝道協会発行の「仏教聖典」をテキストとして学んで行きます。

またそれらの学びを通して、日本の仏教宗派の違い（奈良時代の仏教宗派と平安以降の仏教宗派の違いを中心に）を理解し、今後の葬儀・先祖供養（家中心の葬儀・先祖供養から、個人中心の葬儀・先祖供養への変化を受けて）のあり方を共に考えていきたいと思います。

また、講義の中で修行（坐禅、念仏・題目、回峰行、写経、経典読誦等）の考え方、目標、方法等にも触れていきたいと思います。

中村元博士が到達された「慈しみの心」へ私たちがどのようにすれば到達できるのか、私達は日々どのように生活すれば「慈しみの心」を涵養できるのかを講義を通して考えていきたいと思っています。

何方にも理解いただける事を目標に講義を進めていきますので、日本人の心の根底に流れる仏教理解に貴方の時間を割いて下さい。

是非ご受講をお待ち申し上げます。

合掌

20　マハーバーラタ上演の諸相～物語りの伝統から影絵の上演まで

【全６回】／開催方法：現地のみ

瀬古康雄（せこやすお）
シタール奏者
しまねガムラン主宰

受講料	一般料金：￥10,600　早割価格：￥9,600（納入期限：5月7日）

［日　程］【全６回】　１回／月　第２土曜日　※7/6のみ第１土曜日
（5/11、6/8、7/6、9/14、10/12、11/9）
［時　間］13：20～14：50

■受講に必要なもの
テキストは使用せず、毎回プリント資料を配布します。

インドの英雄叙事詩マハーバーラタはピーター・ブルックによる演劇作品が有名であるが、東南アジアでは人形劇や影絵で上演されることが多く、筆者も25年程の間、ガムランや影絵を上演してきているので、マハーバーラタ上演の諸相を西洋風の演劇作品から始めて、インドの伝統的な物語り（歌いもの）の原点を明らかにしつつ、アジア各国の人形劇や影絵芝居に至るまでを何回かのシリーズで取り上げて比較研究をしてみたい。

正倉院は「シルクロードの東の終着点」と呼ばれ、僧院の調度品や経典を中心とした正倉院御物が有名であるが、「海のシルクロード」と言われるカンボジアやマレーシアやインドネシアなどの国々では、工芸品や芸術品よりも、僧院や宮殿の庭で演じられる歌や踊り、演劇や芝居などの上演芸術（パフォーミングアーツ）が盛んである。演目はマハーバーラタやラーマーヤナというインド起源の物語りが中心であるが、それらを人形劇や影絵芝居で表現するところに大きな特徴がある。

マハーバーラタの原典はサンスクリット語で書かれているが、今日のインドでは英語による普及版や劇画風の絵本など多様な出版物があり、また、ヒンディー語によるテレビドラマの全国放送も人気番組であった。しかし、最もインド的なるものは、パンダワーニー（パーンダヴァ族の説教節）などの吟遊詩人による「歌いもの」であろう。平家物語は平曲とも呼ばれ、琵琶法師が語る「歌いもの」であるが、マハーバーラタは吟遊詩人によってインドの様々な地方の民族語で伝えられ、海のシルクロードの各地にも語り芸として広められた。

「海のシルクロード」のそれぞれの国には基層の文化として祖先崇拝やアニミズムがあり、マハーバーラタ上演の際は、人間が演じるリアルな演劇よりも、木偶人形や影絵などを使うアニメーション風の舞台が好まれたようである。アニメの舞台では、いろんなキャラクターが次々と登場し、昔から伝えられてきた祖先崇拝やアニミズムはもちろんのこと、それ以後の近現代的な信仰やお祭りも物語りに入れ、場合によっては、処世訓や人生観や宗教哲学のシーンも組み入れて、一連の「知の集大成」としても表現される。

本講座では様々な作品の展示やビデオ鑑賞に加えて、「知の集大成」としての上演芸術の多様性に触れ、また実際に山荘（ガムラン音楽堂）に出向いて受講者全員でマハーバーラタの影絵芝居も行ってみたい。

参考書は特に定めませんが、参考文献を適宜提示するとともに、授業で使用したＣＤやＤＶＤを閲覧可能にします。

21　神楽・荒神（こうじん）・藁蛇（わらへび）―中国地方の荒神祭祀（さいし）の世界―

【全２回】／開催方法：ハイブリッド

中野秋鹿（なかのあいか）

中村元記念館東洋思想
文化研究所研究員

受講料	一般料金：￥4,200　早割価格：￥3,200（納入期限：８月27日）

［日程・時間］【全２回】　９月１日（日）13：20〜14：50・15：00〜16：30

■受講に必要なもの

［テキスト］レジュメ配布

全国的に見ても極めて多様性が高い中国地方の神楽。その中でも特に際立った特徴を示すのが、７年や13年などの式年で行われる荒神神楽です。

丁寧に祀（まつ）れば福をもたらし、祀りを怠れば禍（わざわい）をもたらす。「荒神」と呼ばれる荒ぶる神への信仰は、平安後期頃に天台系の宗教者の間で発生したと考えられており、中世・近世を通じて、庶民の信仰世界に広く深く浸透していきました。

全国的には竈（かまど）の神として知られる荒神ですが、こと中国地方においては、竈神にとどまらない特異な信仰形態が数多く見られます。血縁・地縁的共同体の祖先神や牛馬の守護神など、人々の生活に関わる様々な神格が「荒神」の名のもとに包括され、各地域で祀られ続けてきたのです。

荒神が祀られた場所は多くの場合、氏神社のような立派な社殿ではなく、木や石などの自然物、小さな祠（ほこら）や塚です。そしてその木や祠にはしばしば、稲藁で作られた長い蛇（竜（たつ））が巻き付いています。蛇は古来より水神などの正のイメージと、妄執（もうしゅう）などの負のイメージをあわせ持つ存在であり、中国地方の荒神祭祀においては非常に重要な役割を担っているのです。

式年の荒神神楽は、担い手である地域の人々が何か月も前から準備を進め、祭り当日に荒神を祀る場所から特設の神殿（こうどの・かんどん）へ、神々を迎えるところから始まります。それから神殿の上で長い長い時間をかけて、様々な儀式と舞が繰り広げられ、やがて藁蛇を用いた神懸（かみが）かりの儀式に至り、祭りの興奮は最高潮を迎えます。

少子高齢化による担い手の減少や感染症の流行など、荒神神楽を取り巻く状況は厳しさを増していますが、今も中国地方の各地で、伝承を絶やすことなく舞い継いでいる人々がいます。

本講座では、荒ぶる神々と、藁蛇と、地域の人々の祈りとが重なり合って展開する、荒神祭祀の神秘的な世界をご案内します。

22　来松した外国人ハーニアンたちが見た松江―何を見て何を感じたか

【全１回】／開催方法：現地のみ

岡﨑秀紀（おかざきひでき）
学芸員
島根大学教育学部
嘱託講師

受講料	一般料金：￥2,600　早割価格：￥1,600（納入期限：11月26日）

［日程・時間］【全１回】　11月30日（土）13：20～14：50

■受講に必要なもの

［テキスト］レジュメ配布

ラフカディオ・ハーン（小泉八雲）は1890年、松江中学の英語教師として来松しました。松江滞在中は、出雲地方の伝説、地誌の情報をもとに、『Glimpses of Unfamiliar Japan』（1894）をはじめ、多くの作品を発表して、世界に松江を知らしめました。八雲文学のファンはハーニアンと呼ばれます。彼らは、八雲の世界に触れる目的で、松江を訪問し、紀行文を書いています。例えば、John Eillsは、1918年松江を訪問し宍道湖の風景について、「ハーンが最初の一年を教師として過ごした松江は、ジュネーブに似ていなくもない」（1927）と書き残しています。

本講座では、松江を訪問した外国人ハーニアン、10名の人物と紀行文を取りあげます。アルゼンチンの学者J.M.Rohde（来松は未確認）のことは、初めての情報となります。各作品を掘り下げるのではなくて、人物を中心に紹介します。参考文献を提供しますので、彼らが松江で何を見て、どういう印象を得たのか、また八雲をどう捉えていたか、などを一緒に考えたいと思います。

１．はじめに
　　松江・出雲を題材とした八雲の作品（一覧）

２．外国人ハーニアンの来松（1891～）
　１）Karl Florenz（1866－1939）独、言語・日本学。帝国大学で八雲と同僚となる。1891年７月来松。
　２）J.W.Robertson Scott（1866－1962）英、日本農村研究。1915来松（八雲会総会）。
　３）John Eills（1868－？）米、教師・ジャーナリスト。1918来松。「not unlike Geneva」（1927）
　４）Elizabeth Bisland（1861－1929）米、ジャーナリスト・ハーンの友人。1922来松（来日４回）。
　５）Burton Holmes（1870－1958）米、写真家。1922来松。写真集『日本幻景』（1974）
　６）Jorge Max Rohde（1892－1979）阿、大学教授。来日1931年各地訪問（東京・京都・宮島・山口など）。
　　『Viaje al Japón』（1932）
　７）アンヌ・フィドフ・ノッシング　仏、パリ大学講師。1937来松。
　　「宍道湖はニューシャテル湖に似る」（1937）
　８）P.D.Perkins（1897－1963）米、三高教師など。1950来松（ハーン生誕百年祭）。
　９）Bernard Learch（1887－1979）英、陶芸家・民芸運動。1934来松（布志名舩木窯など）。
　10）Lewis William Bush（1907－1987）米、英語教師。1958来松。『New Japanalia』（1977）
　11）Allen E.Tuttle　愛英、八雲研究。1963来松。「Lafcadio Hearn and the soul of the far east」（1955）

３．討論とまとめ

2024年度　東方学院松江校・中村元記念館文化講座　年間スケジュール

4月			5月			6月			7月			8月			9月		
1	月	休館日	1	水		1	土	加藤隆宏①②	1	月	休館日	1	木		1	日	中野②③
2	火		2	木		2	日		2	火		2	金		2	月	休館日
3	水		3	金		3	月	休館日	3	水		3	土	蓑輪②③	3	火	
4	木		4	土		4	火		4	木		4	日	蓑輪①②	4	水	
5	金		5	日		5	水		5	金	齋藤②	5	月	休館日	5	木	
6	土		6	月	休館日	6	木		6	土	瀬古②※	6	火		6	金	
7	日		7	火		7	金	齋藤②	7	日		7	水		7	土	
8	月	休館日	8	水		8	土	瀬古②	8	月	休館日	8	木		8	日	
9	火		9	木	大谷①	9	日		9	火		9	金		9	月	休館日
10	水		10	金		10	月	下田②③	10	水		10	土	山口②	10	火	
11	木	大谷①	11	土	瀬古②	11	火	下田①②	11	木	大谷①	11	日		11	水	
12	金		12	日		12	水	吉田②③	12	金	渡辺②③	12	月	休館日	12	木	保坂②③
13	土		13	月	休館日	13	木	大谷①	13	土	渡辺①②	13	火	休館日	13	金	保坂②③
14	日		14	火		14	金		14	日		14	水	休館日	14	土	瀬古②
15	月	休館日	15	水		15	土	山口②	15	月	休館日	15	木	休館日	15	日	
16	火	石賀①	16	木		16	日		16	火	石賀①	16	金		16	月	休館日
17	水		17	金	齋藤②	17	月	休館日	17	水		17	土	加藤みち子①②	17	火	
18	木		18	土		18	火	石賀①	18	木		18	日	加藤みち子①②	18	水	
19	金	齋藤②	19	日		19	水	吉田②③	19	金	齋藤②	19	月	休館日	19	木	
20	土	山口②	20	月	休館日	20	木		20	土	山口②	20	火	石賀①	20	金	
21	日	ぼたん祭り	21	火	石賀①	21	金	齋藤②	21	日		21	水		21	土	山口②
22	月	休館日	22	水	清水谷②	22	土		22	月	休館日	22	木		22	日	
23	火		23	木		23	日		23	火		23	金		23	月	休館日
24	水	清水谷②	24	金		24	月	休館日	24	水	清水谷②	24	土		24	火	
25	木		25	土	山口②	25	火		25	木		25	日		25	水	
26	金		26	日		26	水	清水谷②	26	金		26	月	休館日	26	木	
27	土	ぼたん祭り	27	月	休館日	27	木		27	土		27	火		27	金	
28	日		28	火		28	金		28	日		28	水		28	土	笠原②③
29	月		29	水		29	土		29	月	休館日	29	木		29	日	笠原①②
30	火		30	木		30	日		30	火		30	金		30	月	休館日
			31	金	加藤隆宏②③				31	水		31	土				

※この月のみ
第1土曜日

講義時間：①10:30～12:00　②13:20～14:50　③15:00～16:30

10月			11月			12月			1月			2月			3月		
1	火		1	金		1	日		1	水	冬季休業および収蔵品整理作業のため休館	1	土		1	土	
2	水		2	土		2	月	休館日	2	木		2	日		2	日	佐久間②
3	木		3	日		3	火		3	金		3	月	休館日	3	月	休館日
4	金	斎藤②	4	月	休館日	4	水		4	土		4	火		4	火	
5	土	竹村②③	5	火		5	木		5	日		5	水		5	水	出口①
6	日	竹村①②	6	水		6	金	齋藤②	6	月		6	木		6	木	
7	月	休館日	7	木	田中①②	7	土		7	火		7	金		7	金	
8	火		8	金		8	日		8	水		8	土	岡①	8	土	岡①
9	水		9	土	岡① 瀬古②	9	月	休館日	9	木		9	日		9	日	
10	木	大谷①	10	日		10	火		10	金		10	月	休館日	10	月	休館日
11	金		11	月	休館日	11	水		11	土		11	火		11	火	
12	土	岡① 瀬古②	12	火		12	木	大谷①	12	日		12	水		12	水	出口①
13	日		13	水		13	金		13	月		13	木		13	木	
14	月	休館日	14	木	大谷①	14	土	岡①	14	火		14	金		14	金	
15	火	石賀①	15	金	齋藤②	15	日		15	水		15	土		15	土	
16	水		16	土		16	月	休館日	16	木		16	日	佐久間②	16	日	佐久間②
17	木		17	日		17	火	石賀①	17	金		17	月	休館日	17	月	休館日
18	金	齋藤②	18	月	休館日	18	水	清水谷②※	18	土		18	火		18	火	
19	土	第9回中村元東洋思想文化賞授賞式	19	火	石賀①	19	木		19	日		19	水		19	水	出口①
20	日	釈②③	20	水		20	金	齋藤②	20	月		20	木		20	木	
21	月	釈①②	21	木		21	土		21	火		21	金		21	金	
22	火		22	金		22	日		22	水		22	土		22	土	
23	水	清水谷②	23	土		23	月	休館日	23	木		23	日		23	日	
24	木		24	日		24	火		24	金		24	月	休館日	24	月	休館日
25	金		25	月	休館日	25	水		25	土		25	火		25	火	
26	土		26	火		26	木		26	日		26	水		26	水	
27	日		27	水	清水谷②	27	金		27	月		27	木		27	木	
28	月	休館日	28	木		28	土	冬季休業および収蔵品整理作業のため休館	28	火		28	金		28	金	
29	火		29	金	齋藤②	29	日		29	水					29	土	
30	水		30	土	岡﨑②	30	月		30	木					30	日	
31	木					31	火		31	金					31	月	休館日

※この月のみ
第3水曜日

各講座へのお申込みのご案内

●受講申込・受講料のお支払方法

以下のいずれかの方法でお申し込みください（お電話・FAXでの申し込みはできません）。
お申し込みは入金が確認できた時点で完了いたします。

1．窓口でのお申込み・お支払い

受講申込書（35ページ）にご記入の上、年会費（文化講座のみ受講の方は不要）、受講料と一緒に提出してください。

2．振込でのお申込み・お支払い

(1) 年会費、受講料を、下記の口座にお振込みください。
注1．振込手数料はご負担ください
注2．振込のご依頼人名と申込書の氏名は同じにしてください。
注3．振込の場合、領収書の発行は致しません。振込の際に発行される控えを大切に保管してください。

(2) 受講申込書（35ページ）にご記入の上、(1) の振込控えのコピー（ご入金が確認できる書類）と一緒に、郵送でご送付ください。
〈郵送先〉〒690-1404　松江市八束町波入2060番地　中村元記念館宛

【振込先】
■ゆうちょ銀行　（この冊子に添付の払込票をご利用ください）
口座番号　01370-8-91228　　加入者名　中村元記念館
■山陰合同銀行　松江駅前支店（店番号004）
口座番号　普通3692971
口座名義　中村元記念館

●受講にあたっての留意事項

①講座によっては受講料のほかに、別途テキスト・教材などの購入が必要な講座がございます。
各講座案内のページをご確認ください。
②一旦納入された受講料、年会費、入会金は原則としてお返しいたしません。
③原則として、申込されたご本人以外の受講はできません。
④講師や他の受講生の迷惑となる行為があった場合、受講をお断りする場合があります。
⑤講座時間内での録音・録画・写真撮影は禁止です。
⑥布教活動・政治活動・物品販売など講座に関係のない行為はお控えください。

●体験受講制度について

東方学院松江校講座、文化講座の一部については、原則第1回目の講座に限り体験受講ができます。体験受講を希望される方は、事前申し込みが必要ですのでお問い合わせください。
体験受講料：￥2,000―
（体験後、正式に申し込みをされる場合、受講料金は体験受講料を差し引いた金額となります。）

●その他

・頂いた個人情報は当法人の業務のためのみに使用し、ご本人の同意を得ずに第三者に提供することはありません。
・各講座の開講の有無、回数は予定です。やむを得ない事情により変更・中止となる場合があります。
・万が一、感染症の発生が疑われた場合は要請を受け必要に応じて保健所等の公的機関へ情報提供を行う場合がございますので予めご了承ください。
・発熱、咳などの症状、その他体調不良の症状のある方、過去2週間以内に感染が拡大している国や地域への訪問歴がある方はご来館をお控えください。
・37.5℃以上の発熱がある方はご入館をご遠慮いただきます。

2024年度　東方学院松江校・中村元記念館文化講座受講申込書

◆ 太枠内をご記入ください。

		申込日　　年　　月　　日
ふりがな		生年月日
氏　　名		年　　月　　日
住　　所	〒　　ー	
電話番号		（緊急の際に連絡がつく番号をお書きください）
E-mail		

◆ NO.1～16を受講される場合は、各受講料の他に3,000円の年会費が必要となります。
（NO.17～22のみを受講される場合は、必要ありません。）

※オンライン可の講義を自宅受講される方は○をつけてください。

◆ 受講を希望する講座Noと受講料（早割適用の場合は早割の受講料）に○をつけてください。

種別	番号	講義名	講師名	受講料	受講料（早割）	早割締切日	オンライン自宅希望	事務局記入欄 受領日	担当	データ
東方学院松江校	1	曇鸞『往生論註（浄土論註）』を読む	齊藤　舜健	¥20,200	¥19,200	4月12日				
	2	『法華経』から学ぶ仏教入門	山口　弘江	¥13,000	¥12,000	4月16日				
	3	『日本的霊性』と「スピリチュアリティ」	岡　　宏	¥9,000	¥8,000	10月8日				
	4	インドにおける瞑想と造形～密教的観想法（サーダナ）の世界～	佐久間留理子	¥7,000	¥6,000	2025年2月12日				
	5	日本神話と世界の神話―構造分析による比較	出口　　顯	¥5,800	¥4,800	2025年2月26日				
	6	現代インドの社会と文化	加藤　隆宏	¥9,000	¥8,000	5月24日				
	7	仏教における二つの「無礙」思想について―現代西洋哲学倫理思想との対照―	下田　正弘	¥9,000	¥8,000	6月4日				
	8	誰にでもわかる仏教	吉田　宏哲	¥9,000	¥8,000	6月5日				
	9	大乗仏教の論争―大乗は仏説なのか―	渡辺　章悟	¥9,000	¥8,000	7月5日				
	10	日本中世における修行道―法相宗・浄土宗・禅宗・日蓮宗を例に	蓑輪　顕量	¥9,000	¥8,000	7月30日				
	11	地蔵信仰の変遷―仏教の日本化の視点から	加藤みち子	¥9,000	¥8,000	8月16日				
	12	中村元博士の思想研究の継承への試み（中村思想と比較文明学）	保坂　俊司	¥9,000	¥8,000	9月5日				
	13	中村元博士の思惟方法	笠原　愛古	¥9,000	¥8,000	9月24日				
	14	仏教の基礎を学ぶ―私の仏教観	竹村　牧男	¥9,000	¥8,000	10月1日				
	15	真（まこと）の宗教と社会倫理定義へのいざない	釈　　悟震	¥9,000	¥8,000	10月15日				
	16	『歎異抄』が我々現代人に伝えたいメッセージ	田中ケネス	¥5,000	¥4,000	10月31日				
		受講料合計（ア）		円						
		年会費（イ）		¥3,000						
		東方学院松江校　お支払い合計（ア）＋（イ）		円			―Ⓐ			

種別	番号	講義名	講師名	受講料	受講料（早割）	早割締切日	オンライン自宅希望	事務局記入欄 受領日	担当	データ
文化講座	17	伝統芸道香道を学ぶ―源氏物語をとおして―	大谷香代子	¥12,200	¥11,200	4月4日				
	18	初歩からはじめる仏像彫刻	石賀　善章	¥13,800	¥12,800	4月9日				
	19	仏教を判りやすく理解する仏教概論	清水谷善圭	¥12,200	¥11,200	4月17日				
	20	マハーバーラタ上演の諸相～物語りの伝統から影絵の上演まで	瀬古　康雄	¥10,600	¥9,600	5月7日				
	21	神楽・荒神（こうじん）・藁蛇（わらへび）―中国地方の荒神祭祀（さいし）の世界―	中野　秋鹿	¥4,200	¥3,200	8月27日				
	22	来松した外国人ハーニアンたちが見た松江―何を見て何を感じたか―	岡﨑　秀紀	¥2,600	¥1,600	11月26日				
		中村元記念館文化講座　受講料合計		円			―Ⓑ			

お支払い合計（Ⓐ＋Ⓑ）	円		

受　付	データ	備　考

《送付先》

〒690-1404　島根県松江市八束町波入2060　中村元記念館

※窓口に提出するか、振込控えのコピー（ご入金が確認できる書類）と一緒に郵送してください。

キリトリ線

●中村元記念館東洋思想文化研究所研究員募集

中村元記念館東洋思想文化研究所の研究員を募集いたします。当研究所は、中村元記念館に所蔵されている中村元博士の約34,000冊の蔵書・資料を活用して、博士が開拓された学問の道をさらに深く探究し、山陰地域の学術・文化の振興に寄与することを目的とします。

〈活動内容〉
- 隔年発行予定の当館の研究紀要に研究発表をする。
- 可能であれば、関連する学会で発表をする。
- 人文科学分野の研究を振興する。

〈応募資格〉
- 人文科学分野の修士号を有する方、または修士号と同等の資格（研究業績等）を有する方。
- 中村元記念館東洋思想文化研究所の理念に賛同し、中村元記念館を支え、発展させていく熱意のある方。

〈応募方法〉

以下の書類を中村元記念館まで郵送してください。採用に当たっては所長による面接を行います。
- 履歴書（功績書またはそれに準じるものを添付する）
- 研究課題書
- 推薦書

〈応募締切〉

毎年度　２月末日

〈待遇〉
- 当館所蔵の図書・資料を管理者の同意のもとご活用いただけます。
- 研究助成金等は当分の間支給いたしません。
- 研究員に対して会費等の徴収をすることはありません。

中村元記念館東洋思想文化研究所

所　　長	藤　井　教　公
副 所 長	釈　　悟　震
主　　事	清水谷　善　暁

●中村元記念館ボランティアサポーター募集

中村元記念館では、当館の事業にご協力いただける「ボランティアサポーター」を募集中です。
ご都合のいい時間に、ご自分の持ち味や興味を活かしてボランティアしてみませんか。
詳しくは中村元記念館までお気軽にお問い合わせください。

〈活動内容の例〉
- 蔵書整理
- イベント運営
- 付属研修施設の環境整備
- チラシ等発送業務
- 語学（翻訳/通訳）

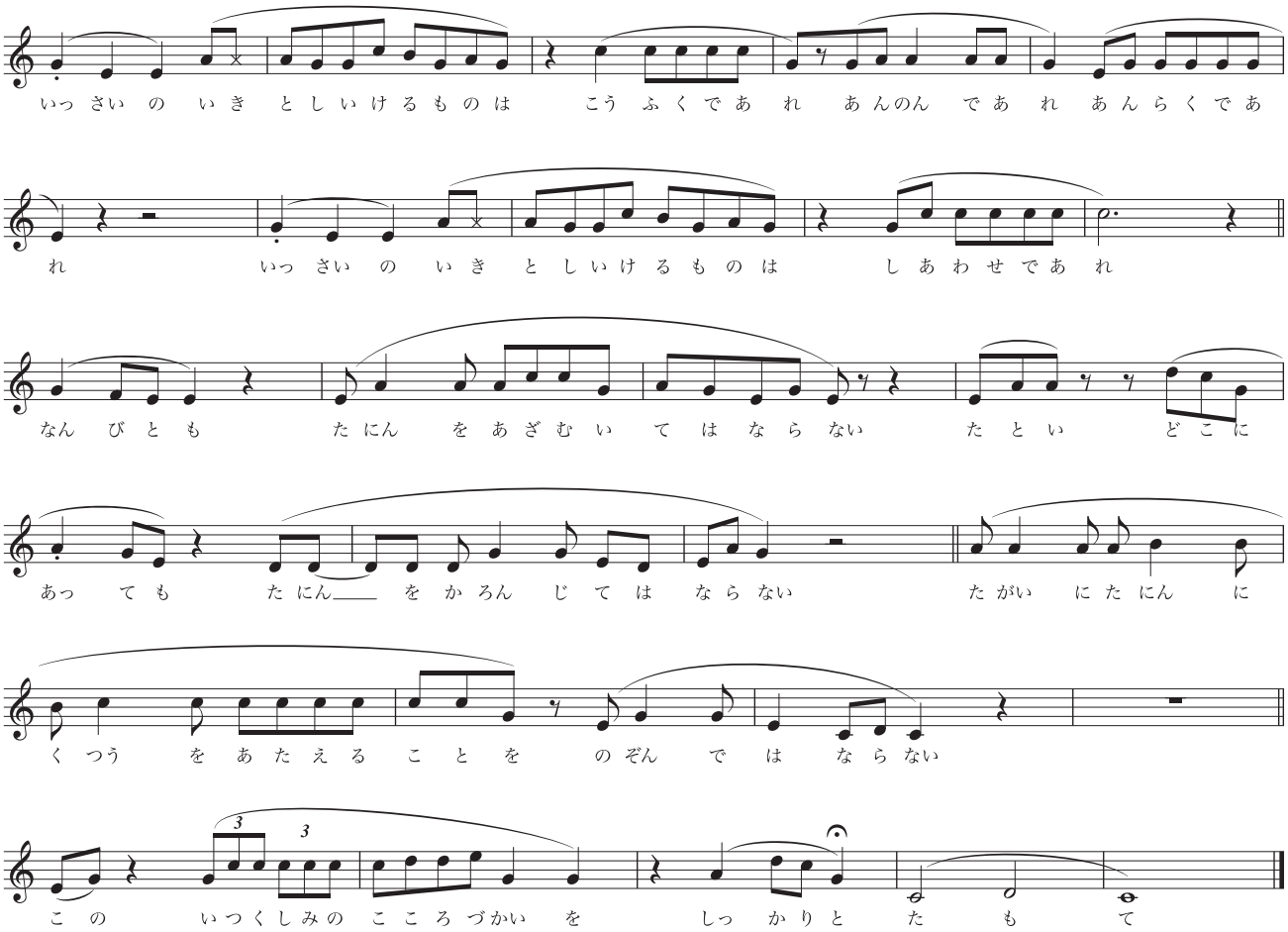
慈しみ

東方学院歌

詞　中村　元
作曲　中村匡宏

慈しみ

一切の生きとし生けるものは、
　幸福であれ、安穏であれ、安楽であれ。
一切の生きとし生けるものは、幸せであれ。
何びとも他人を欺いてはならない。
たといどこにあっても
　他人を軽んじてはならない。
互いに他人に苦痛を与える
　ことを望んではならない。
この慈しみの心づかいを
　しっかりとたもて。



© 2013 Kunihiro NAKAMURA.

アクセス

飛行機でお越しの方

【米子空港から】車で約15分
【出雲空港から】車で約50分

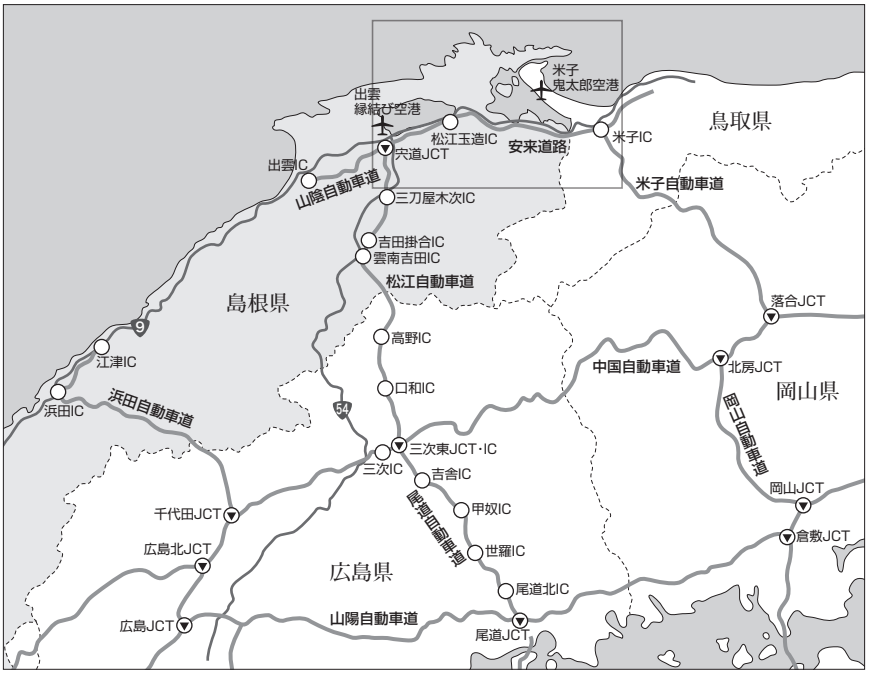
車でお越しの方

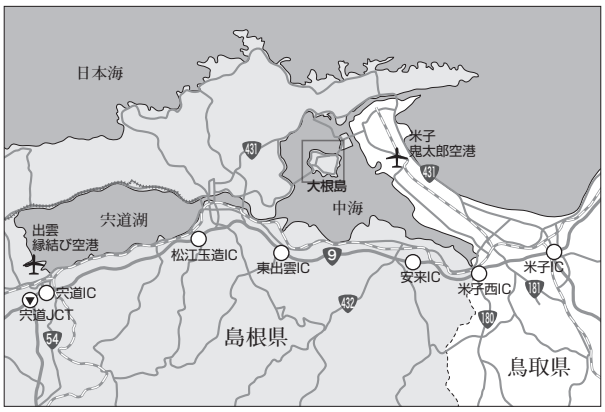
【広 島 か ら】車で3時間（中国自動車道三次I.C.経由）
【岡 山 か ら】車で2時間15分（岡山自動車道・中国自動車道・米子自動車道）
【松江駅から】車で約25分
【境港駅から】車で約10分
【米子駅から】車で約35分

バスでお越しの方

【松江駅から】
・松江市営バス「八束町」行で約50分、「八束支所・中村元記念館前」下車
【境港駅から】
・「まつえのるーと」をご利用ください
※平日のみ

詳しくはQRより
YouTube





Nakamura Hajime
Memorial Hall
नाकामुरा हाजीमे स्मारक सभागृह

2024年３月　発行

発行所　特定非営利活動法人中村元記念館東洋思想文化研究所
〒690-1404　島根県松江市八束町波入2060番地　松江市八束支所2F
TEL 0852-76-9593/FAX 0852-76-9693
info@nakamura-hajime-memorialhall.or.jp
https：//www.nakamura-hajime-memorialhall.or.jp/

￥300（税込）